

小田島さんへの質問



医師会	行政の縦割りについて、医療と介護の連携を推進することが（委託を受けた）医師会の役割と考えておりますが、行政側の医療介護連携推進事業や在宅医療の提供体制に相談する窓口が明らかでない（積極的ではない？）、そのような状況において委託先としてどのように行政とかがかわっていったらよいでしょうか。
市役所	「連携で課題に感じていることは何か」と関係者に聞いても、「わからない」「特に課題はない」と言われてしまう。どのようにしたら、現場の課題感を引き出せるでしょうか、そのために市でできることはあるでしょうか。
市役所	在宅医療・介護連携の推進には、関係者による協議が必要だが、どの職種においても人員不足で日程調整が難しい状況です。協議の場の開催にあたって、集まりやすい時間設定や早めの日程調整する工夫はしていますが、他にありますか。

委託先と行政の関わり

課題把握の方法

効率的な協議の場の設定方法

小栗さんへの質問



○市 在宅医療・介護連携支援センター	経歴を異にする各コーディネーターが、どこで・どのような知識を得て、スキルアップをしていけばよいでしょうか？ 「コーディネーターに求められる資質」が漠然としていて、スキルアップを図れば良いのか、正直わかりません。
医師会	医療・介護連携の進捗をどのように評価されておられますか。 例えば、「入退院支援」では「ケアマネジャーが入院医療機関を訪問して患者の情報共有をどの程度行ったか」 「日常の療養支援」では「主治医等との医療ニーズを持つ高齢者が日常生活情報の共有をどの程度行ったか」等が考えられます。 当地域では、これらがあまりなされていません。
○病院	ICTの活用について伺いたいです。 飯塚市では、MCSの活用として空床情報や災害に備えた情報共有をしているそうですが、活用してみてよかった点や改善が必要な点はありますか

コーディネータ
のスキルアップ

在宅医療 4 場面
ごとの
定量的な評価

ICTの活用につ
いての工夫

川越先生への質問



○市 在宅医療・介護連携支援センター	行政の担当者は、定期的に人事異動があり、異動のたびに目標や事業の方針がブレいているように感じます。 医師会の立場から、継続的な取り組みを推進するためには、行政とのかかわりにおいて工夫していることはありますか。
医師会	行政、医師会、センター職員が地域課題や事業の方向性を共有し、各々の役割を生かして事業を進めるために、どのような協議の場や関係づくりが重要でしょうか。
医師会	コーディネーターの人材確保、育成をどのようにしているかをお伺いしたい。

- 委託先と行政の関わり
- 協議の場や関係づくりの工夫
- コーディネーターの人材確保・育成について